

【第3回 知の市場年次大会】

試薬論

(生活と産業を支える社会インフラとしての試薬)

2012年1月30日

関東化学株式会社

取締役 CSR部長

三好 一生

当社の概要

- ・社名 関東化学株式会社
KANTO CHEMICAL CO.,INC.
- ・本社 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
- ・代表者 代表取締役社長 野澤 学
- ・設立 昭和19年(1944年)11月13日
- ・資本金 30億円
- ・従業員 1,118名 (平成23年4月1日現在、役員・臨時含む)
- ・売上高 554億円 (平成23年3月期) (関東化学ホールディングス連結ベース)
- ・事業内容 化学薬品の製造販売
(試薬・電子材料・臨床検査薬・化成品)

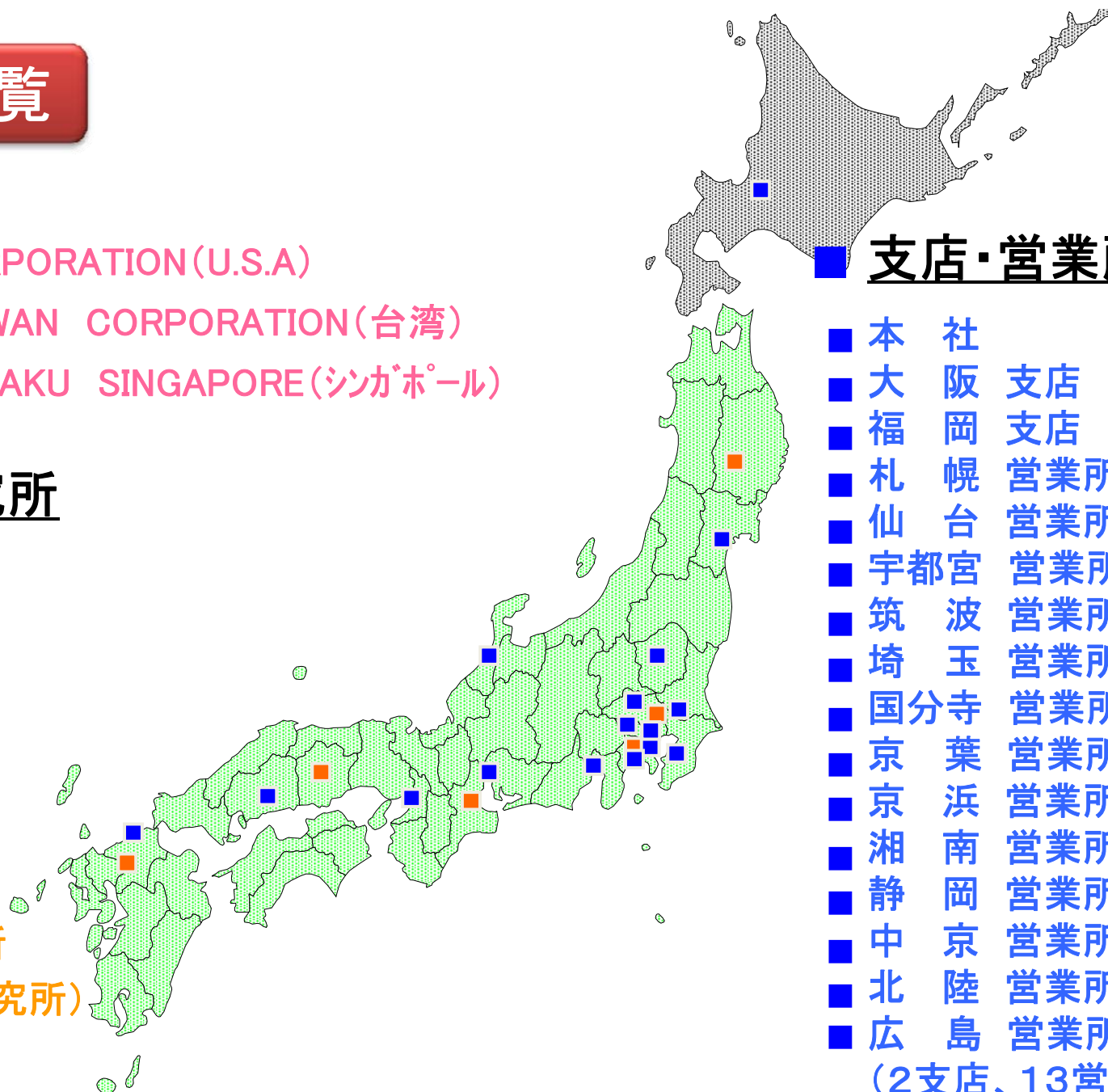
事業所一覽

■ 海外

- KANTO CORPORATION(U.S.A)
- KANTO TAIWAN CORPORATION(台湾)
- KANTO KAGAKU SINGAPORE(シンガポール)

■ 工場・研究所

- 草加工場
 - 岩手工場
 - 伊勢原工場
 - 岡山工場
 - 大牟田工場
 - 三重工場
 - 中央研究所
 - 伊勢原研究所
- (6工場、2研究所)



支店・営業所

- 本社
 - 大阪支店
 - 大福支店
 - 札幌営業所
 - 仙台営業所
 - 宇都宮営業所
 - 筑波営業所
 - 埼玉営業所
 - 国分寺営業所
 - 京葉営業所
 - 京浜営業所
 - 湘南営業所
 - 静岡営業所
 - 中岡営業所
 - 北陸営業所
 - 広島営業所
- (2支店、13営業所)

経営理念

我々は未来を考え
新しいものへの挑戦を図り
社会に対し積極的に貢献する

当社は、創立50周年に当たる1994年を契機に経営理念を刷新し、「**今後は社会に対する貢献を最大の理念として事業の運営、業容の拡大を図っていく**」との決意表明を行いました。

以来、社会的責任を果たすことの重要性(CSRの重要性)を強く認識し、積極的な挑戦を重ねてまいりました。

これによりCSRの精神は、社員一人一人に深く根付いております。



当社とステークホルダー

科目の概要

- ・開講機関 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター
(増田研究室)
- ・連携機関 関東化学(株)
- ・科目No. CT562
- ・科目名 試薬論 (副題:生活と産業を支える社会インフラとしての試薬)
- ・講義日時 後期の毎週水曜日 (2012.10.3~2013.1.23)
18:30~20:30
- ・講義場所 お茶の水女子大学 (教室未定)
- ・募集定員 30名
- ・レベル 中級
- ・講師 関東化学(株) 技術部門スタッフ

新規開講

講義内容

- 試薬は化学的方法による物質の検出もしくは定量、物質の合成実験などの主として試験研究のために用いられる化学物質です。
- 一般的な認知度は低いですが、日常の生活や産業および経済活動を円滑に実施するための社会基盤の構築を支え、社会のリスク管理のための役割も果たしています。
- 本講では、計量・環境・人の健康・食の安全・産業の発展などを支える試薬の役割について解説します。



講義内容

・はじめに

1. 試薬とは
2. 試薬の規格と分析技術

・計量を支える

3. 計量のトレーサビリティにおける試薬の役割
4. 標準物質と認証標準物質

・環境を支える

5. 増大する環境分析

・人の健康を支える

6. 健康管理における試薬の役割
7. 細菌検査における試薬の役割
8. バイオマーカーの検出を目的とした試薬と検査薬への応用

講義内容

・食の安全を支える

- 9. 食の安全を守る試薬
- 10. 食中毒に対する試薬の役割

・産業の発展を支える

- 11. 医薬品産業を支援する実用的な触媒技術
- 12. エレクトロニクス産業を支える高純度薬品
- 13. 最先端エレクトロニクスデバイスの製造に用いられる機能性薬品

・さいごに

- 14. 薬品管理
- 15. 未来に向けた材料開発

課題・抱負

- 当社にとっては今回が初めての開講です。
- 試薬はあらゆる産業分野に関係しており、広い範囲に関する知見を提供できるものと考えています。
- 本講の受講により、少しでも受講者の皆様のお役に立つことができれば幸いです。
- この講座を通じて試薬の役割や試薬業界に関する理解が少しでも広まることを期待しています。